

伊方町議会第7 2 回定例会に係る一般質問通告内容

質問者	質問の大綱	質問の相手
木嶋 英幸 議員	1 住環境について	町 長
質問の要旨		
<p>日本全体に言える事ではありますが、愛媛県等、地方の特に郡部の地域に於いて、ことさら顕著な少子化が近年よく叫ばれております。ご多分に漏れず伊方町もひどい減少の一途を辿っていて限界集落と言える所何ヶ所もでき、地域の維持が大変になっているのではないのでしょうか。街灯等を始め地区の維持には、住人の多少に関係なく維持管理費は必要です。少人数になればなる程1人当たりの負担は増えてきます。生まれて良かった伊方町、住んで良かった伊方町、高齢者にも優しい伊方町と言って頂ける町づくりを推進する為にも住環境の整備は不可欠です。そこで提案というかぜひ検討願いたい事があります。</p> <p>伊方町は青色発光ダイオードの発明でノーベル物理学賞を受賞された中村修二博士の生誕地であり、お父さんは九町、お母さんは大久の方でご本人も大久小学校に入学されていて生粋の伊方町民であります。伊方町民にとっても誇りであり子供達には憧れの人でもあります。そんな偉大なる功績を称える意味でも世界に先駆けて1自治体がオールLED化を目指すプロジェクトを進めては如何でしょうか。LEDは蛍光灯の半分の消費電力、寿命は白熱電球の20倍以上、蛍光灯の3倍以上あると言われております。こんな素晴らしい文明の力を使って町民の負担を軽減して欲しいと思います。</p> <p>一般街灯や防犯灯だけでなく、学校や役場関連施設など公共施設への導入ができたとしたら想像できないくらい、びっくりする程の電気代の削減になります。少しでも財政に負担を掛けない努力も必要です。今後、電気代が上がり税収が減るのは目に見えて明らかです。LED化にするにはかなりの初期投資が必要とは思いますが、嬉しい事に道路・漁港・港湾の照明設備はかなりLED化が進められていると担当課から資料の提供を頂きました。又、地区内の防犯灯についても設置や電気料金の補助がなされているとの事でしたが、学校等の公共施設はまだまだこれからの様です。エネルギーの町、青色発光ダイオード発明者中村修二博士の出身地と言う事も世界に発信できる一石三鳥のチャンスではではないのでしょうか。公共設備等にどれ位の初期投資が要ってどれ位コスト削減ができるのかシミュレーション（数字で示して欲しいのですが）←消した部分してみたいはいかがでしょうか。</p> <p>町長の見解をお尋ねします。</p>		